

水稻生育情報 (No.2)

令和8年7月13日
茨城県 県西農林事務所 経営・普及部門
(筑西地域農業改良普及センター)

【気象と生育の概況】

本年の5月1日～7月10日の気象は、日平均気温が平年より0.5℃高く、降水量は平年比130%、日照時間は平年比107%となりました。

7月10日現在、管内の水稻調査における「コシヒカリ」生育状況は、草丈は平年よりやや低く、茎数および葉色は平年並みとなっています。幼穂長から予測した出穂日は、平年並み～やや遅れる見込みです（表1）。

表1 水稻定点調査結果（7月10日現在：コシヒカリ）

調査地点	田植日 〔月日〕	植付株数 〔株/坪〕	草丈 〔cm〕	茎数 〔本/m ² 〕	葉色 〔葉色板〕〔SPAD値〕	幼穂長 〔mm〕	出穂予測日 〔月日〕
筑西市	5月7日	50	78	414	3.7 30.4	9.8	7月26日
一本松	(5月5日)	(53)	(85)	(461)	(3.5) (33.0)	(12.4)	(7月26日)
桜川市	5月7日	50	78	535	3.2 31.2	3.0	7月30日
真壁町飯塚	(5月7日)	(51)	(83)	(471)	(3.3) (31.6)	(11.5)	(7月26日)
下妻市	5月5日	46	80	602	3.9 34.2	5.3	7月28日
加養	(5月1日)	(46)	(88)	(549)	(3.7) (32.1)	(40.6)	(7月22日)

※()内は令和3年～令和7年の5カ年平均値

※出穂日は今後の天候により前後する場合があります。

【今後の管理について】

- ・生育ステージに合わせて、適期に追肥や病虫害防除を行いましょう。
- ・中干しは、幼穂形成期（幼穂長 1～2 mm、出穂 25～20 日前頃）までに終了しましょう。
「コシヒカリ」、「にじのきらめき」であれば、4月下旬～5月上旬移植の圃場では6月末から、5月中旬移植の圃場では7月5日頃から幼穂が始めます。（表2）

表2 移植日別生育ステージの目安（コシヒカリ）

移植日	幼穂形成期	出穂期
5月1日	6月26日～7月1日	7月21日ごろ
5月10日	7月1日～7月6日	7月26日ごろ
5月20日	7月6日～7月11日	7月31日ごろ

- ・出穂期頃の葉色が淡い場合には、実肥を検討しましょう。
より正確な出穂期は幼穂長から予想することができます。（図1 及び表3）

図1 幼穂の確認方法

※生育が中庸な数株の主茎または最長茎を抜き取る

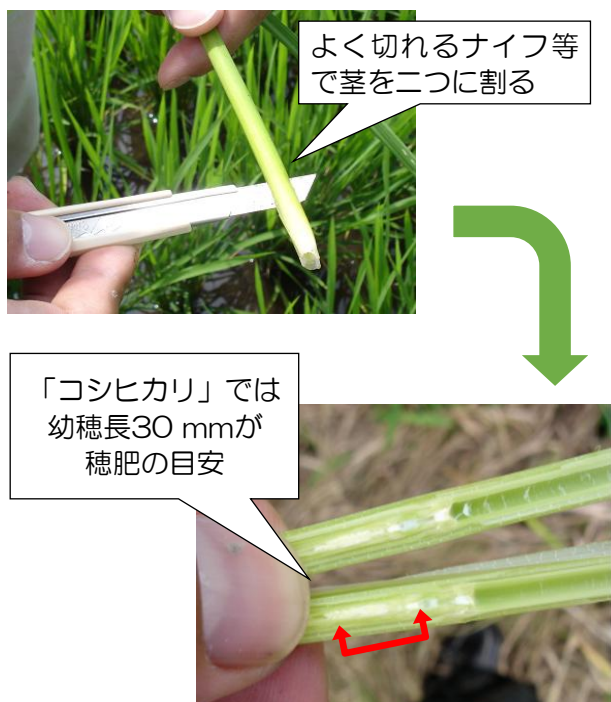


表3 幼穂長から予測した出穂期までの日数目安（コシヒカリ）

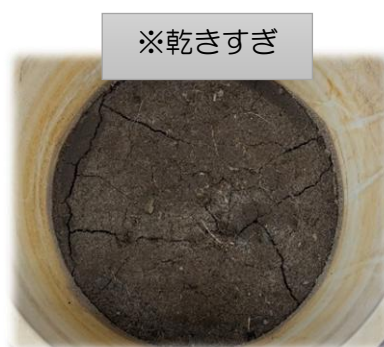
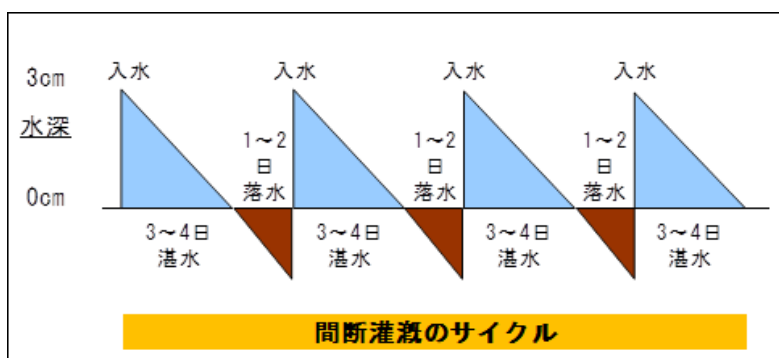
幼穂長 (mm)	確認した日から出穂期までの日数	
	平年並みの気温	平年気温+2℃
0.5	26	23
1	26	21~22
2	22	20
4	20	18
6	19	17
10	17~18	15~16
20	15~16	13~14
40	13~14	11~12
60	12	10~11
100	10~11	9

※「普通作栽培基準」（農業総合センター）より

※出穂期までの予測日数は7/16ころ確認時における目安

●今後の水管理について

- 中干し以降は根腐れ防止のため5日以上連続湛水は避け、入水→自然落水くりかえす間断灌漑を行きましょう。
- 入水のタイミングは、砂質ほ場では田面に触れると湿り気を感じる程度、粘質ほ場では田面に触れると水が付着する程度とします。



【今後の発生に注意が必要な病害虫】

●斑点米カメムシ類

①畦畔の除草作業

畦畔等のイネ科雑草はカメムシ類の生息場所となるため、出穂期の2週間前までの除草を徹底しましょう。水田内への追い込みを避けるため、出穂期直前から収穫2週間前までは除草を控えましょう。

②不稔被害の軽減

出穂期～穂揃期に多数の成虫に加害されると不稔となり、減収の原因となります。この時期に多数の成虫を確認した場合にはただちに薬剤防除を行います。

③斑点米の防止

斑点米を防止するためには、乳熟期（出穂後10～15日頃）の防除により幼虫密度を低下させることが重要です。

※周辺の水田と出穂時期の異なる早生や晩生品種では被害が集中しやすいため、特に注意が必要です。必要に応じて追加防除を行ないましょう。



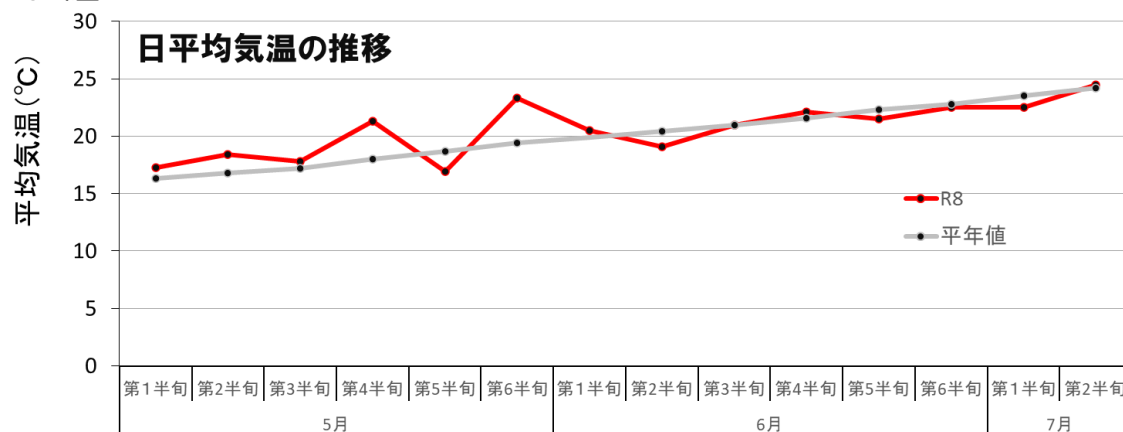
図2 クモヘリカメムシの成虫（左上）と幼虫（右上）
イネカメムシの成虫（下）
（引用：茨城県農業総合センター 病害虫防除部）

	7月			8月			9月
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬
イネの生育	幼穂形成期 穂ばらみ期		出穂期	乳熟期			成熟期
カメムシの生態 (成育ステージ)	イネ科雑草に生息		成虫飛来期・産卵期	ふ化期	若齢期	中齢期	老齢期 羽化 イネ科雑草に移動
防除対策と時期	①畦畔の草刈り (成虫の飛来防止)		②薬剤防除 (不稔防止)		③薬剤防除 (斑点米抑制)		

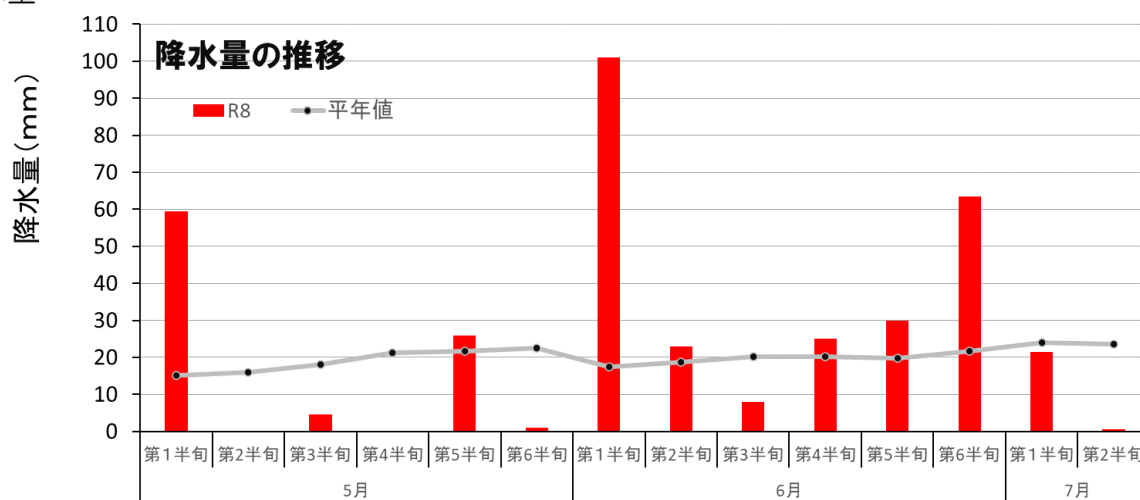
図3 5月上旬移植の「コシヒカリ」「にじのきらめき」における斑点米カメムシ類の防除時期の目安

参考（気象データ：アメダス下館地点。平年値は 1991～2020 年の値）

① 日平均気温



② 降水量



③ 日照時間

